

平成29年9月17日の台風第18号による 黒沢ダム防災操作の効果について

【速報推計】

大型で強い台風第18号の接近に伴い、黒沢ダム流域では9月15日朝から雨が降り始め、17日17時までの累計雨量は黒沢ダム観測所で446mmに達しました。

このため、黒沢ダムは流入量が $80\text{m}^3/\text{s}$ に達した17日13時33分より防災操作を開始し、15時00分には最大流入量 $157.39\text{m}^3/\text{s}$ を記録したため、 $81.81\text{m}^3/\text{s}$ の放流により河道流量を最大 $75.58\text{m}^3/\text{s}$ 減少させました。

今回の黒沢ダムの防災操作により下流佐伯市長良堅田橋地点では、もし黒沢ダムが無かった場合は、今回のピーク水位が0.15m程度更に高かったものと推測されます。

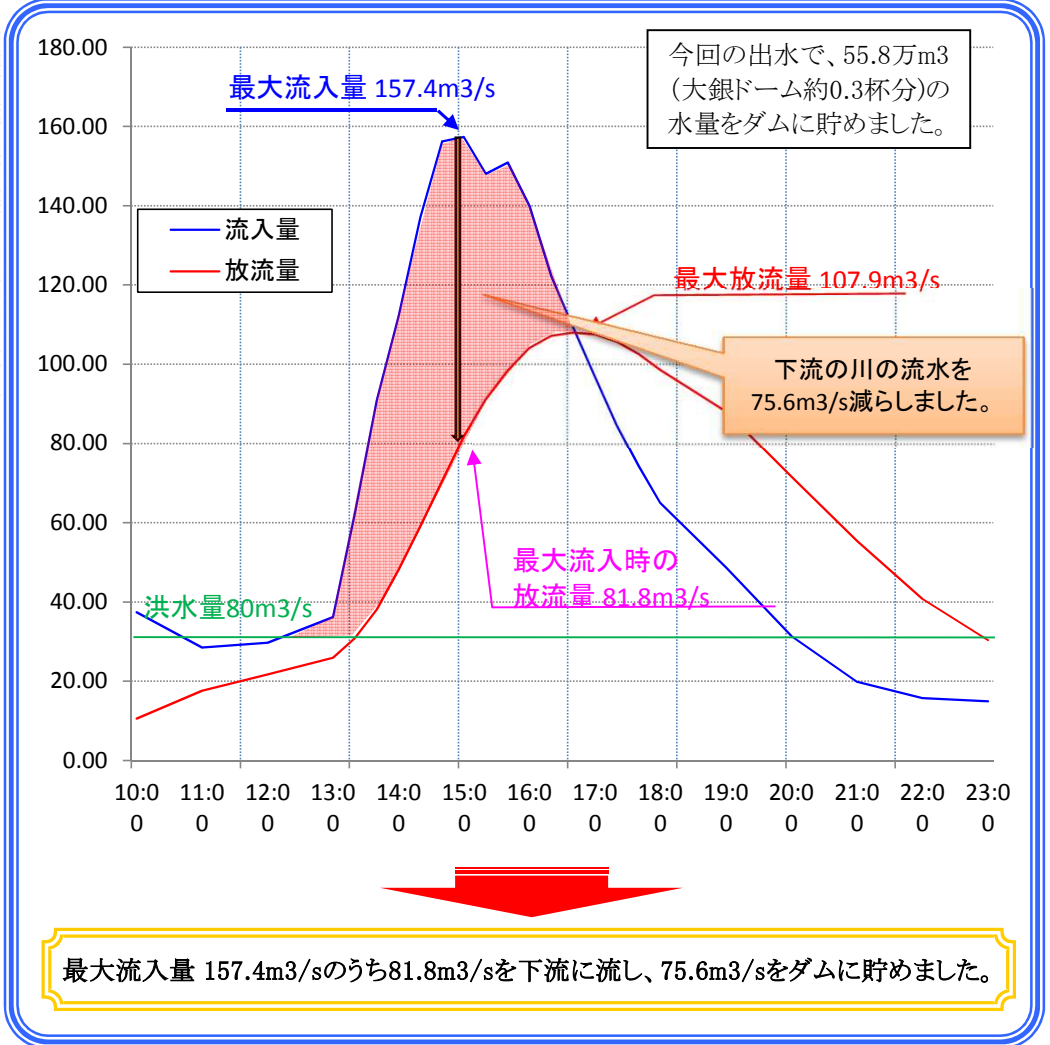


平成29年9月17日の台風第18号による 黒沢ダム防災操作の効果について

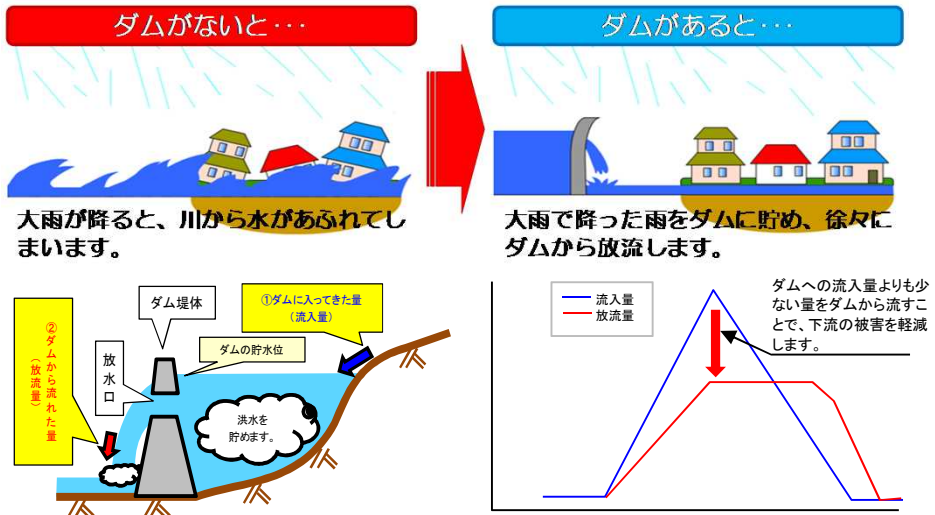
【黒沢ダム位置図】



【洪水調節実績図（速報値）】



【ダムの治水効果】



平成29年9月17日の台風第18号による 黒沢ダム防災操作の効果について

【 佐伯市大字長良 堅田橋地点の河川水位比較 】

